

令和5年度府中市立府中第八小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ①教科によっては、主体的に考えて学習に向き合うことが苦手な児童がいる。
- ②文章を正確に読み取り、問題解決をしていくことが苦手な児童が多い。
- ③文章を書いて表現することが苦手な児童が多い。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①「主体的・対話的で深い学び with ICT」の授業改善を行う。
- ②個別最適な学び、協働的な学びをバランスよく取り入れる指導計画を立てる。
- ③児童全員で主体的に参加できる授業をし、達成感のある授業を創る。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- ①「主体的・対話的で深い学び」のために、ICTを含むツールなどを場面に応じて選び、活用して学ぶ。
- ②繰り返し問題に向き合ったり、自ら主体的に考えたりして、問題を粘り強く解決していく能力や態度を身に付ける。
- ③ICT活用と併用して、語彙や文章のパターンを増やして文章や言葉を書く。

(2) 目指す授業像

- ①「主体的・対話的で深い学び with ICT」の授業改善により、児童の学ぶ意欲を高める。
- ②授業のツールとして積極的にICTを活用したり、少人数指導や講師、学習支援員を活用した指導により、個に応じた指導の充実を図ったりする。
- ③児童全員が主体的に参加できる、学び合いによる問題解決学習を行う。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

<p>国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①朝の読書や日頃の読書活動を通して、学年相応の本を読んだり、読書の幅を広げたりすることができる指導をし、読書の楽しさが味わえるようにする。 ②漢字習得の折に、語彙を増やす熟語指導や文章作りを取り入れ、日常的に既習漢字を用いることができるように指導する。 ③聞くポイントを明確にし、最後までしっかりと聞くことを指導する。 話すときにも、聞き取ったポイントを押さえて話すよう指導する。 ④文章を「書く」活動において、学年相応のめあてを達成するために「相手が分かりやすいように」という相手意識をもたせることや文を書くときの約束など、個々の実態に応じて一人一人に合った作文指導をする。 	<p>音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①歌詞の表す様子や気持ちと音楽の構造、歌詞の内容との関わりを理解し、思いや意図に合った音楽表現の技能を身に付けさせる。 ②曲の特徴にふさわしい音楽表現を考えて、表現に対する思いや意図をもち、歌ったり演奏したりすることができるようにする。 ③音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら様々な音楽に親しませる。
<p>算数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎学力を身に付けさせるため、繰り返し計算練習に取り組みさせる。 ②筋道を立てて考える力を育てるために、既習事項、式、図、表、グラフ、数直線などを活用させる。 ③日常的に量感を養う活動を取り入れ、単位の理解を深めさせる。 ④正確に作図する練習を繰り返し行い、技能を身に付けさせる。 ⑤自分の考えたことを表現したり、友達に説明したりする時間を確保する。 	<p>図画工作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①導入を工夫して、発想したり構想を立てたりしやすいようにする。 ②描画材の基本的な扱いや用具の正しい使い方などを確実に指導する。 ③苦手意識がある児童に対して、自分の表したいことを自由に表せるように、言葉かけや、授業の組み立てを工夫する。

令和5年度府中市立府中第八小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

<p>社会</p>	<p>①地域や国土の名前・位置を地図帳で確認させ、地理的特色を捉えられるように指導法を工夫する。</p> <p>②学習を通して分かったことを新聞やカードにまとめ、知識・理解を深めるとともに表現力を養う。</p> <p>③総合的な学習の時間や各教科とのつながりを意識した、横断的、体験的活動を取り入れていく。</p>	<p>家庭</p>	<p>①児童の課題意識を明確にするため、視覚的に理解しやすい資料を提示し、見通しをもって学習できるように指導法を工夫する。</p> <p>②基礎的技術を身に付けさせるために、児童が興味をもち意欲的に取り組めるような教材を工夫する。</p> <p>③友達と教え合ったり、認め合ったりするなどの関わりを通して、すすんで取り組めるようにする。</p> <p>④学習した内容を自分の生活に役立てられるような態度を育成する。</p>
<p>理科</p>	<p>①観察する力や自分の考えをまとめる力を身に付けさせるため、視点を明確にして観察し、見たことを絵と文章で表現させる。</p> <p>②問題解決型の学習で繰り返し授業を行うことで、見通しをもって学習できるようにする。正確に実験する技術を身に付けさせ、まとめる力を育むために、既習事項をもとに予想を立て、実験したことを考察して結果から結論を導き出してまとめる力を育成する。</p> <p>③学習したことを使って、生活の中の事象を考えることができるようにする。</p>	<p>体育</p>	<p>①運動領域に偏りがなく様々な運動の経験をさせ、技能の向上を図る。</p> <p>②単位時間のめあてをはっきりさせ、技のポイントを明確に示し、技能の定着を図る。</p> <p>③学習の中で友達と認め合ったり教え合ったりするかわりを通して、運動の喜びや楽しさを味わえるようにする。</p>
<p>生活</p>	<p>①児童の思いや願いに基づいた活動を数多く経験させる。</p> <p>②大きさ・長さ・形・におい・色・手触りを視点としたワークシートの作成を工夫して、体験した内容を段階を踏んで学べるようにする。</p> <p>③学校や地域の特色を生かし、題材を工夫した活動を設定する。</p>	<p>外国語</p>	<p>①英語を使った活動を通して、外国語「読む」「話す（やり取り・発表）」「聞く」「書く」・外国語活動「話す（やり取り・発表）」「聞く」活動を取り入れ、楽しみながら繰り返し練習することで、自信をもたせるようにする。</p> <p>②外国語の音声に十分慣れ親しませるとともに、身近な生活と学習内容とが結び付けて考えられるよう指導する。</p> <p>③外国の文化に親しむ機会を積極的につくるとともに、外国語を用いてコミュニケーションをとることの楽しさを味わわせられるようにする。</p>

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

- ・テストの結果などから、一人一人の興味・関心に応じた学びができるように、eライブラリを活用する。
- ・「Jamboard」で意見を発表する。
- ・「Google スライド」で多様な意見や調べたことをまとめ、編集した内容を発表する。